

1 広島県「基礎・基本」定着状況調査(通過率) ー第5学年ー

国語 教科全体の通過率 (%)

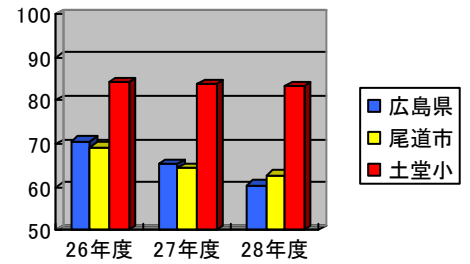
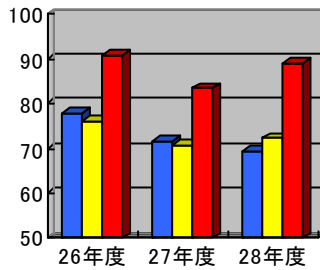
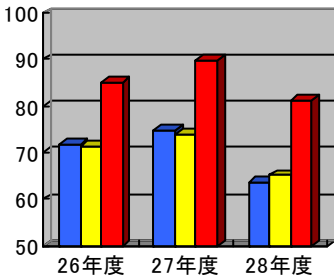
算数 教科全体の通過率 (%)

理科 教科全体の通過率 (%)

	26年度	27年度	28年度
広島県	71.8	74.7	63.7
尾道市	71.2	73.9	65.1
土堂小	85.1	89.8	81.1
県との差	+13.3	+15.1	+17.4

	26年度	27年度	28年度
広島県	78.0	71.6	69.4
尾道市	76.1	70.8	72.3
土堂小	90.7	83.5	89.0
県との差	+12.7	+11.9	+19.6

	26年度	27年度	28年度
広島県	70.6	65.3	60.6
尾道市	69.2	64.5	62.9
土堂小	84.2	83.8	83.3
県との差	+13.6	+18.5	+22.7



「基礎・基本」定着状況調査について

全ての教科において目標（県平均+12）を達成することができた。3教科ともに、基礎的・基本的な学習内容は定着していると捉えている。

教科	課 題	今後の取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる語や文を捉えて、文章を正しく読むことができる。 目的や必要に応じて情報を取り出し、それらに関係付けて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な本や説明的な本など、多様な本で児童実態に合った本を推薦指定図書として、たくさん読ませたり、速く正確に読む習慣をつけたりする。 目的に応じて、何のために、どのようなことが必要かなどを明確にしたうえで、文章の重要な点を表現に即して的確に押さえて、まとめさせる学習を行う。 図表やグラフなどから目的に応じて必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にする学習を行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について適切に判断することができる。 折れ線グラフを棒グラフから特徴や傾向を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「がい数」の学習で、四捨五入だけでなく、切り上げ、切り捨て、以上、以下などの言葉やその意味をしっかりと理解させる。 複数のグラフを比較してそれらのグラフが表わす意味や特徴を読み取ったり、グラフ用紙によって目盛りの付け方を工夫したりする活動を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 腕が動くしくみの知識を活用して、足が動く「のびる、ちぢむ」しくみを説明できる問題で誤答が多く、筋肉の動きを理解する。 重さと体積の関係捉えて考えることができる問題で誤答が多く、同じ重さで違う体積のものを、同じ体積にした時の重さについて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人の体の骨や筋肉の動きを、資料を使って調べるだけでなく、他の動物の体のつくりや体の動き、運動を観察したり、触ってみたりしながら比較する。 算数科「重さ」「体積」などや他教科の学習においても、条件をそろえたときの大小関係を考えさせる学習を取り入れる。粘土だけでなく、砂などの身の回りにあるもので、体積を同じにしたときの重さの違いを、手ごたえなどの体感だけでなく、てんびんや自動上皿はかりを用いて数値化を行い、違いをとらえさせる。

平成 28 年度 全国学力・学習状況調査 結果

10月5日
全校保護者に配布

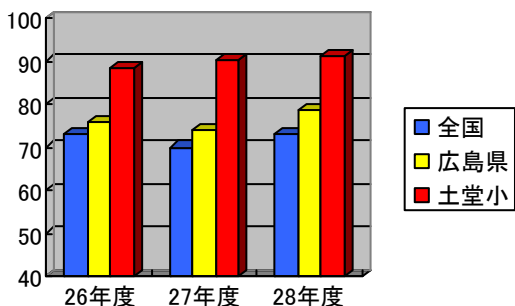
尾道市立土堂小学校

この調査は、全国の6年生の児童を対象として、学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童へ教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施している調査です。今年度は、国語科と算数科について実施されました。

全国学力・学習状況調査(平均正答率) ー第6学年ー

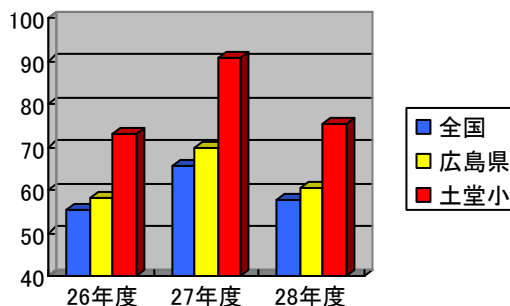
国語Aの平均正答率 (%)

	26年度	27年度	28年度
全国	72.9	70.0	72.9
広島県	75.9	73.8	78.4
土堂小	88.3	90.1	91.1
全国との差	+15.4	+20.1	+18.2



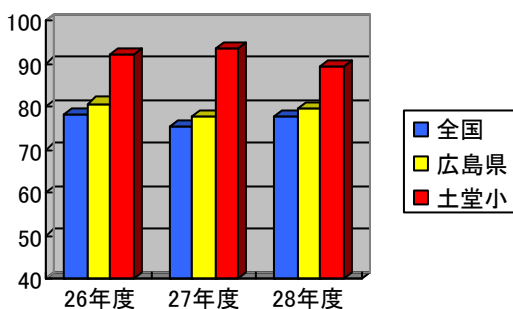
国語Bの平均正答率 (%)

	26年度	27年度	28年度
全国	55.5	65.4	57.8
広島県	58.3	69.7	60.5
土堂小	72.9	90.6	74.5
全国との差	+17.4	+25.2	+16.7



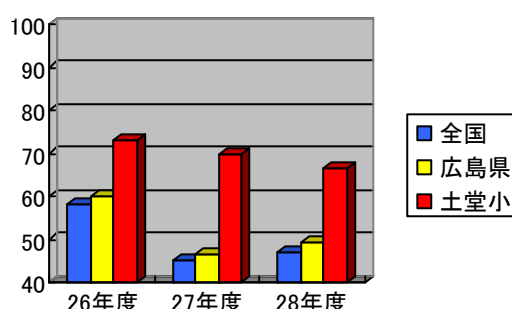
算数Aの平均正答率 (%)

	26年度	27年度	28年度
全国	78.1	75.2	77.6
広島県	80.7	77.7	79.7
土堂小	91.9	93.6	89.5
全国との差	+13.8	+18.4	+11.9



算数Bの平均正答率 (%)

	26年度	27年度	28年度
全国	58.2	45.0	47.2
広島県	60.1	46.7	49.5
土堂小	73.1	69.6	66.4
全国との差	+14.9	+24.6	+19.2



全国学力・学習状況調査について

目標 (A問題全国平均+12, B問題全国平均+15) を概ね達成することができた。「知識」「活用」とともに定着が図られていると捉える。

教科	課題	今後の取組
国語B	<ul style="list-style-type: none"> グラフをもとに、分かったことを的確に書くこと。 目的や意図に応じて、表をもとに、自分の考えを書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて記述させる。また、1つのグラフを取り上げて全体的な特徴や変化の特徴を捉える学習、複数の図表やグラフを比較したり関係付けたりする。 読み取った情報を相手に分かりやすく伝えるための言葉を選択する。また、観察したり、実験したり、調査等を行ったりして得られた結果などの事実を図表やグラフで示し、自分がどのように読み取って分析したのか、そこからどのような考えをもったのかを具体的に記述するような学習を行う。
算数B	<ul style="list-style-type: none"> 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさをもとに、式の意味の説明を記述できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図や式などを用いて問題を解決し、児童が互いに図や式の意味を解釈し説明し合う活動を設ける。また、表現された式について図に表わしながら解釈し説明し合う活動を大切にする。 立式するだけでなく、友達が考えた式や示された式について、その式の数値はどこから導き出されたものであるのか、その数値に対してどのように演算を行っているのかを考える場面を設けて大切にする。